

34 民間活力等を活かした「知の集積」の推進

【2, 038 (1, 113) 百万円】

対策のポイント

日本版フードバレー構想の策定や民間活力を活かした研究を推進します。

<背景／課題>

- ・農林水産・食品産業の成長産業化を加速化するためには、民間からの研究開発投資を促進するとともに、他分野での研究成果を早急に取込むことが必要となっています。
- ・また、民間活力等を活用した研究開発を推進することにより、革新的な研究シーズや埋もれた研究成果を商品化・事業化に結びつけるための「橋渡し」機能の強化が求められています。
- ・このため、オランダのフードバレーを参考に産学官が集結した研究開発拠点である「日本版フードバレー構想」策定に向けた検討や民間企業等による事業化に向けた研究及び異分野と融合した共同研究等を推進します。

政策目標

民間企業、大学等の持つ「知」を集積した場の構築

<主な内容>

1. 日本版フードバレー調査推進事業 [新規] 145 (一) 百万円
農林水産・食品分野の産学官の「知の集積」の場づくりを進めるための基礎的な事業計画素案を検討するとともに、民間企業等の意向調査を踏まえた導入可能性調査を実施します。
(委託費)
委託先：民間団体等
2. 革新的な食品分析技術研究の推進を通じた民間研究開発の強化
品種改良から栽培技術、食品保存・加工法の改善まで幅広い応用が可能なメタボロミクス（生体内の代謝活動を網羅的に把握・分析する技術）等の革新的分析技術を活用し、農林水産業・食品分野の課題解決に向けて産学連携研究を強化します。
(農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業（食品技術開発型）)
480 (一) 百万円
委託費
委託先：民間団体等
3. 民間活力を活かした研究の推進
全国に配置したコーディネーターが収集した生産現場や民間のニーズに基づき、民間企業等による事業化促進に向けた研究開発及び工学など異分野と融合した研究開発を強化します。
(革新的技術創造促進事業（民間活力を活かした研究推進事業）)
1, 300 (1, 000) 百万円
事業化を加速する産学連携支援事業 113 (113) 百万円
補助率：定額、委託費
事業実施主体：(独)農業・食品産業技術総合研究機構、民間団体等

[お問い合わせ先：農林水産技術会議事務局研究推進課

(03-3502-5530)]

民間活力等を活かした「知の集積」の推進

農林水産・食品産業にイノベーションを起こし商品化・事業化を促進するため、企業、大学等による「知の集積」を通じた技術革新の仕組みを検討します。

日本版フードバレー調査推進事業

国で策定する構想を基に、「知の集積」の場づくりに向けた事業計画素案の検討や、民間企業等の意向調査を踏まえた導入可能性調査を実施。

オランダ・フードバレー



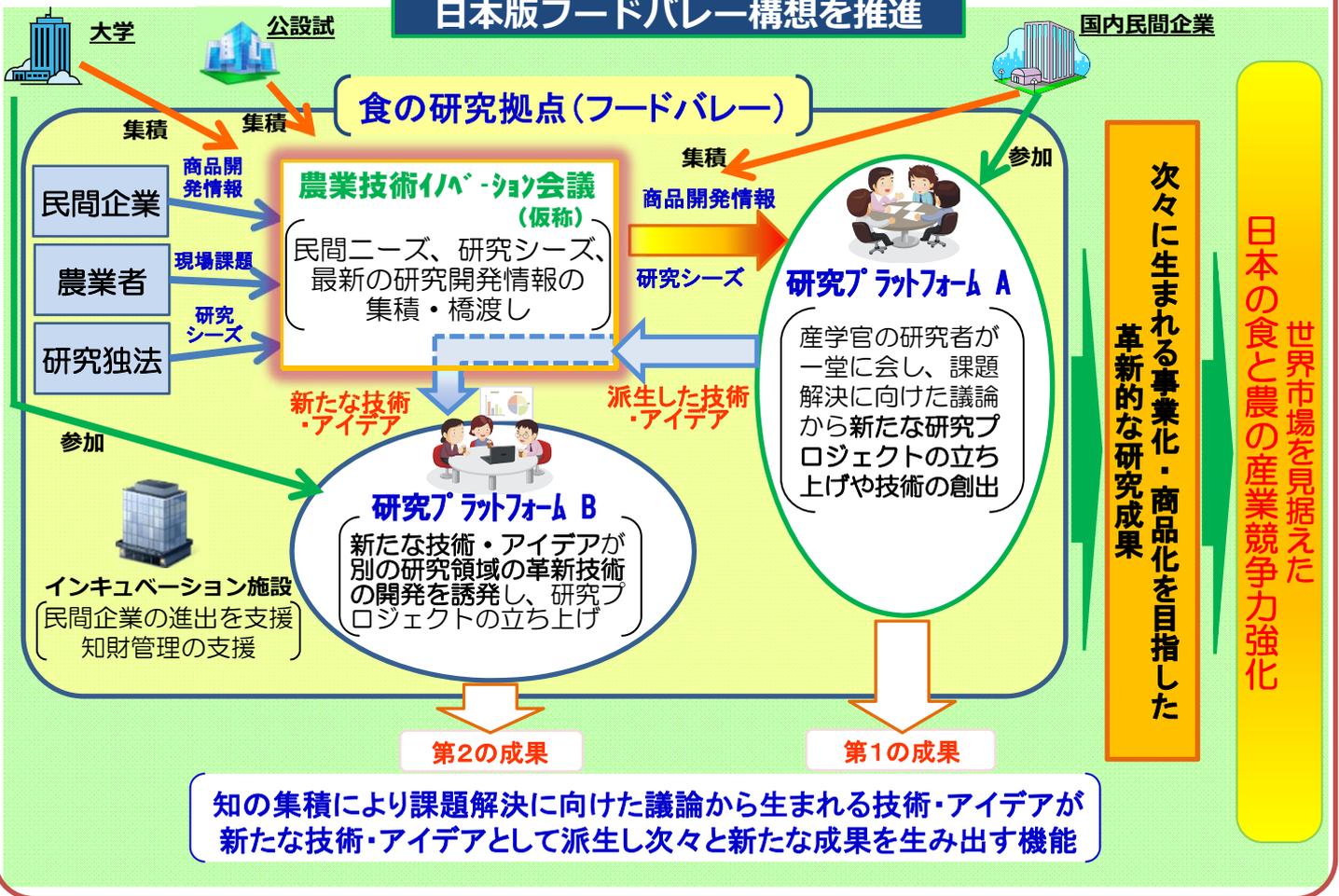
1,500以上の
企業、研究機関等が
集積、連携

フードバレーの構築により、
・自動環境制御型の園芸用
ガラスハウス開発
・トマト等の園芸品種開発
・新たな機能性食品の開発

世界有数の
農産物輸出国へ

我が国においてもイノベーションが必要

日本版フードバレー構想を推進



知の集積により課題解決に向けた議論から生まれる技術・アイデアが新たな技術・アイデアとして派生し次々と新たな成果を生み出す機能

研究成果
の応用

農林水産業・食品産業 科学技術研究推進事業 【食品技術開発型】

幅広い応用が可能なメタボロミクス等の革新的分析技術を活用し、産学連携研究を強化。

研究期間：原則2年以内

連携

革新的技術創造促進事業 (異分野と連携した研究開発)

生産現場等のニーズに基づき、民間企業等による事業化に向けた研究開発及び工学など異分野と融合した研究開発を強化。

研究期間：原則3年